福祉だより あわい

編集・発行
粟井地区社会福祉協議会
松山市久保８８番地
松山市粟井公民館内

粟井の動き

人　　口　6,727人
（65才以上人口2,450人）
高齢者人口比率　36.4%
世 帯 数　2,636戸
（令和3年2月1日現在）

粟井海岸美化活動の取り組みについて

粟井海岸クリーンアップの会　代表　重松春樹

粟井海岸とは、粟井坂地先から高山川河口までの防潮堤海岸を言います。この海岸線に沿って健康維持のために散歩する人、体力増進のためにジョギングする人、さまざまな人に気づきます！

ここは、遠浅の砂浜が広がる多島美の瀬戸内海国立公園内です。鹿島が神奈川県の江の島、砂浜は湘南海岸ではないかと錯覚するような所です。

しかし、足元を見ると、そこはさまざまなプラスチック類のごみが発生し、クラスターが発生し、「ごみ屋敷海岸」そのものです！プラスチック類のごみについては、私たちの生活する利便性の引き換えに散乱したものです。

このような中、地域おこし協力隊の杉山育代さんの協力も得て当会を立ち上げました。

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の17項目の「3」に、すべての人に健康と福祉の目標があります。プラごみは、経年変化を経てマイクロプラスチックとなり、食物連鎖を通して人の健康に悪影響を与えると言われています。プラごみについては「12」のつくる責任、つかう責任でもあります。

漂着ごみ拾いが、粟井海岸本来の姿を取り戻すための美化活動だけではなく、高齢者の身近な社会貢献活動の一環として捉えています。それは、健康寿命を延ばすことが社会貢献活動だと考えているからです。

漂着ごみ拾いは、持続可能な健康づくりであり、健康寿命の延伸であると考えているのです。**「持続可能な健康づくり＝社会貢献活動である」**と考えて、気晴らしで参加して戴けたら幸いです!!

開催は奇数月を予定しています。
（詳細は改善センター内表示）

粟井海岸クリーンアップの会　代表　重松春樹

事業活動のようす

サロン交流会　1月29日

入口で体温測定と手の消毒をし、ドアも開け放ち、コロナ対策をしっかりして交流会を実施しました。

始めに各サロンの活動状況等の報告があり、各々にコロナ対策に苦心しながらも、工夫して楽しく活動している様子がうかがえました。

次に作品制作で、「干支のちぎり絵・赤牛」を作りました。薄い和紙を手でちぎって形を作り色紙に張っていきます。大きな胴体に目や口、鼻や角等をつける各々の位置や形によって、みんな一つ一つ違った表情の牛が出来てきました。どれもやさしい目付きのかっこいい牛達です。本当にかわいい！苦心しながらも楽しい作品作りでした。

いきいき健康教室　11月4日

11月4日（水）粟井農村環境改善センター２Ｆ大会議室においていきいき健康教室が松山市地域包括支援センター北条より講師をお招きし、（認知症サポーター養成講座）として約30名の参加で開催されました。

内容は　1，認知症について
2，認知症の方との関わり方
3，認知症の予防法
（食事、運動、規則正しい生活、等）
4，DVDの視聴

でした。これらを一緒に勉強した上で実際の事例について皆で話し合いました。

実に意義深い健康教室でした。

編集後記

今年度はコロナに開けコロナに暮れた1年でした。

さまざまな活動が中止や自粛となる中、地道に活動されている方々もいらっしゃることに、力強さを感じさせられました。

福祉だより32号の発刊にあたり、ご投稿いただいた方々に、お礼申し上げます。

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

令和２年度募金額

地区町内会	1,025,100円
民生児童委員	217,834円
合　計	1,242,934円

地域交流スペース なないろカフェ のご紹介！

なないろカフェは、「地域での生活の拠りどころ」となる場所を目指して出来たスペースです。地域の方々や、施設の利用者様に気軽に利用していただき、また福祉の相談窓口として皆様と繋がれると幸いです。

カフェとして、ドリンクやランチ、シフォンケーキのご用意の他、地域の皆様からお声をいただき、様々な活動をして参りました。

活動のご紹介

○いきいきカフェあおぞら（毎月開催）
ゆっくりお茶を飲みながら、介護の相談や、季節の小物制作などをしていただける場です。

○まつイチたいそう（毎週開催）
『毎週・続けて・いきいき・長寿』まつやま週イチ体操マットを敷いて気持ちよく体を動かします。

地域の方々のお声掛けで、お越しいただいております。

また、松山市ふれあい・いきいきサロンの活動や、施設の利用者様のカフェ利用など、ご好評をいただいております。

今後も皆様の身近な存在になれるよう工夫をして参ります。

なないろカフェ（外観）

（内観）

みんなと一緒に

★日中活動
★友達とのおしゃべり
★利用者さんと交流
など、ご利用をお待ちしております。

いきいきカフェ あおぞら

毎月開催！時間 13:30～16:00
参加料 100 円
（飲み物+お楽しみスイーツ付）
※色々な制作もあります

まつやま週イチ体操 まつイチたいそう

パソコンなんでも教室

ご利用について

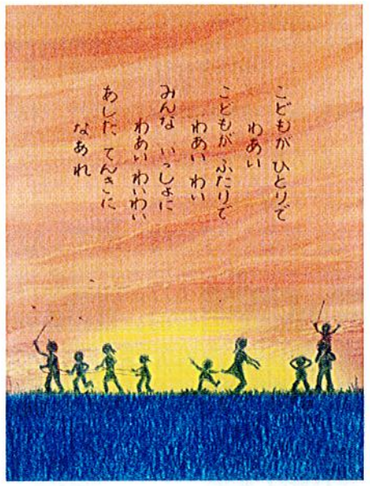
月～土曜日 AM10:00～15:00
定休日：日曜日
座　席：約 20 席
お問い合わせ先
TEL：080-4034-5493

住所：松山市苞木甲 200 番地

保育園主催 ハーバリウム作り

児童養護施設は子どもの幸せを願ってつくられた“もう一つの家庭”です

三愛園



社会福祉法人　三愛園
〒799-2465　愛媛県松山市和田甲 125 番地
TEL・FAX　089-994-0550
ホームページURL　http://www.3aien.or.jp/

三愛園からの便り

「子どもはみんなで育てましょう」

三愛園　施設長　杉山　洋

児童養護施設「三愛園」は、社会的養護を必要としている子どもたちの幸せを願ってつくられた「もう一つの家庭」です。現在、幼児から高校生まで24名の子どもたちが、3つのグループ（5人、6人、13人）に分かれて生活をしています。私たち職員も七転八倒しながら、子どもと共に泣き笑いの日々を過ごしています。

児童擁護施設の子どもたちが背負っている家庭環境は確かに厳しいものがありますが、それは一般家庭の事情と極端にかけ離れたものではなく、むしろ紙一重とも言えます。その境目は相談できる人や助けてくれる人がいるかどうか。それが、とても大切なことだと思うのです。

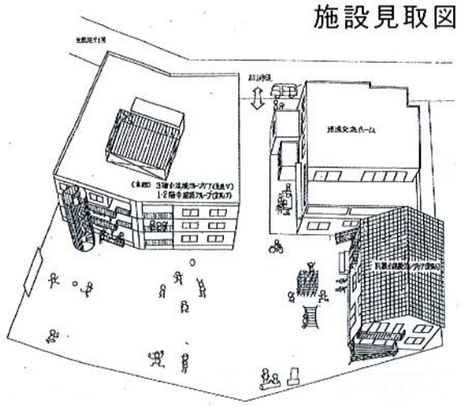
「こんにちは」「元気かえ」「変わりないか」「こら何しよんぞ」「大きになったのお」等々、そんな声掛けこそが、地域の子育て力そのものだと思います。そんな言葉がけのできる顔なじみの子どもが、あなたには何人いますか。出来ればその中に三愛園の子どもたちも加えて下さいませんか。

「地域から孤立しているか否か」ではないかと思うのです。子育ては楽しいことばかりじゃない。むしろ大変なことの連続。親だけじゃどうにもならないこともある。そんな時に、周囲に

三愛園は子どもの権利擁護に努めています。

子どものことでお悩みの方、施設入所をご希望の方は、児童相談所にご連絡ください。
当方にご相談いただければ、関係機関へのご案内もします。

主な行事

4月	ひなまつり、節句遠足、オリエンテーリング
7月	ソフトボール大会、福祉施設交流会
8月	一泊旅行、七夕、キャンプ、水泳大会
10月	地方祭、手をつなぐ子らの集い
11月	バレーボール大会
12月	もちつき、クリスマス大会
1月	マラソン大会
2月	節分豆まき、スキー、スノボー、ソリ、スケート
3月	ボーリング、お別れ会

施設見取図